

○人権施策推進審議会 第12期第5回会議および第6回会議における意見について（令和8年度人権に関する県民意識調査関係）

番号	意見の対象	意見の趣旨・論点	意見の概要	
1	調査方法	インターネットによる回答について	・前回調査では、調査票とは別の案内書類にインターネット回答のサイトにアクセスできるQRコードを印字していたことだが、インターネットで回答する場合、調査票を見てさらに別の案内を見るというその一手間が面倒で回答しない人もいたかもしれないため、調査票自体にQRコードを掲載してはどうか。	第12期第5回
2	調査方法	回収率の向上について	・回収率の目標を55%とするのであれば、はがきによる再依頼2回は必要な回数だと考える。	第12期第6回
3	質問項目	質問項目の新設（AIの問題）	・新しい人権課題として、AIによる誤った情報の問題がある。このような問題を人権課題とどのように絡めて啓発していくのか。誤った情報によって人権が侵害されることがあると思われるので、次回の調査ではAIの問題をどう取り扱うのかを考える必要があるのではないかと考える。	第12期第5回
4	質問項目	質問項目の見直し（性的マイノリティ）	・性的マイノリティの人権問題については、機微に触れる問題であり、当事者である子どもはいじめに遭いやすく、自殺を真剣に考えたことがある割合も一般の人より4倍程度高いと言われており、深刻な問題であることは事実である。この問題を意識調査の中でどのように取り上げるかということをよく考える必要がある。	第12期第5回
5	質問項目	性別欄の選択肢について	・調査対象の性別欄の項目について、「男、女、答えたくない」という選択肢となっているが、これをLGBTQの方が見たときに気持ちが良いものとは思えないので、内閣府作成の資料掲載の事例や海外の事例を参考に、性別欄の表現を検討してもらいたい。	第12期第6回